

体験活動参加型＋講演会型＋子育てサロン型(こども園)

学 校 名 等	幼保連携型認定こども園 市橋保育園
実 施 日 時	平成28年7月13日(水)午前10時から11時
会 場	市橋保育園
参 加 人 数	在園児、一般の親子15組(0.1歳児対象)
学習課題(分野)	『親子でわらべうた』
運営者の願い	小さな子どもたちの心をやさしく包むわらべうた。愛着関係にある人が口ずさむ歌に耳を傾け心地よいふれあい遊びをたくさん経験することで共感関係を築いていけるわらべうたを親子に伝え絆を深めてもらいたい。

学 習 の 内 容

体験活動型＋講演会型＋子育てサロン型

市橋保育園家庭教育学級講演会『親子でわらべうた』～0.1歳児対象～

講師:霜 康代先生 時間:午前10:00～11:00

<親子でわらべうた>

- ・講座のはじまり。まずは、お母さんの気持ちをほぐすために、お子さんをひざにのせてわらべうたをうたう。わらべうたの心地よいうたいかたに慣れてきたら、動きをとりいれる。お子さんを揺らしたり、抱っこしながら一緒に歩いたりしながら、お子さんがどんな動きに喜ぶのか知る。向き合っ、お互いの表情をみながらふれあい遊びを楽しむ。最後に、布やお手玉を使ってのわらべうたをする。身近にある道具でより楽しいわらべうたができることを知る。お母さんもお子さんにも慣れるまではぎこちなかったが、わらべうたをすすめていくなかで今まで知らなかった部分を知り心も体も近づきあい自然にふれあい遊びを楽しんでいた。



写真①

<わらべうたって?>

- ・講師(霜 康代先生)から、わらべうたについてお話を聞く。お子さんにとって心地よい音とは? ふれあうことで育まれるものとは? 初めてわらべうたに触れるお母さんたちにも、わらべうたっていいな..と思わせてくれるお話しと、こんなものがあるとわらべうたが楽しくなるよ! という小物(道具)や絵本の紹介。



写真②

<お母さんたちからの質問の時間>

- ・お子さんとの関わり方、遊ばせ方で困ったこと、こんなときどうすればいいんだろう? という質問から、普段誰に聞いていいのかわからない疑問まで、お母さん同士の交流の場となる。

<参加者の感想>

- ・『初めてわらべうたをしてみました、子どもがこんなに喜ぶことにびっくりしました。お家でもやってみます。』
- 『講師のせんせいが繰り返し何度もうたってくださいだったので、覚えやすかったしだんだんうたうことが恥ずかしくなくなりました。』
- 『普段、一緒に遊んでいても、なかなかふれあう遊びができていなかったなと感じた。よく笑っていて子どもも楽しいんだなと思った。』



お子さんが集中できる限られた時間の中で、体験活動型、降園型、子育てサロン型を取り入れて、わらべうたのよさを知っていたただく、より充実した時間となるよう流れを工夫した。